

日 時	令和4年2月22日（火）午前10時～午前11時10分
場 所	北栄町役場大栄庁舎 3階 第1委員会室
出 席 者	委員長、委員5名、オブザーバー1名、事務局3名
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 改訂案について</p> <p>～事務局より前回からの変更点（青字で修正）を説明～</p> <p>①追加修正が必要な事項</p> <p>*P. 20 ふるさと館外国人入館者数・米花商店街来客数の推移について</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと館は年別の推移であるのに比べ、米花商店街は月別の推移であるため、双方の関連性が確認できない。</li> </ul> <p>&lt;オブザーバー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・双方の来客数は同じように推移している。</li> </ul> <p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと館のグラフに米花商店街来客数の年別推移グラフを追加し、双方を比較できるようにする。</li> </ul> <p>*P. 34 (13) 6次産業化に係る新たな商品開発件数について</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅北条公園の再整備で商品開発が活発になってくると思うが、KPIが3件/年（R7）は少ないのではないか。</li> </ul> <p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7.4月開業に向け再整備を進めており、指定管理者である(株)TTCの強みが地元産物を活かした商品開発であるため、今後活発な商品開発が見込まれる。</li> <li>・現段階では開業に係る商品開発件数が見込めないこと、既存の「北栄町まちづくりビジョン」のKPIを引用していることから、KPIの修正は難しい。</li> <li>・KPIの下に、道の駅北条公園開業に向け開発件数を増やす見込みである旨の注釈をつけることとする。</li> </ul> <p>&lt;委員長&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本来であれば1次計画終了年度のR5を目標値として設定してあることが望ましいが、既存の「北栄町まちづくりビジョン」等のKPIを引用したため、達成年度にバラつきがあることをご了承いただきたい。</li> </ul> <p>②第2次計画に向けた検討事項</p> <p>*P. 28 (3) 町内の観光事業について</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済波及効果を数値として出せないか。</li> </ul> <p>&lt;事務局&gt;</p>

・過去に外部に依頼し、経済効果分析を行ったことはあるが直近では実施していない。

・ふるさと館及びコナン通りの周辺関連施設の経済効果分析のみ。

<委員長>

・ふるさと館再整備にあたり波及効果を分析する必要があるため、担当課（観光交流課）に実施を検討してもらい、2次計画に反映できたら。

\*P.33 IJUターン促進について

<委員>

・移住者数のKPIは産業分野におけるものか。

<委員長>

・産業分野（例：企業誘致）における移住者数ではなく、全体の数値。

・コロナ禍の地方回帰もあり移住者数はさらに増加する見込み。

・副業人材※の活用を含めた場所を選ばない新しい働き方が、地元企業の活性化を図ることが期待される。これについても2次計画に反映できたら。

※都市部のビジネス人材とのマッチングを行い、副業・兼業として県内企業の経営課題を解決するもの。

\*各取り組みのKPIについて

<委員>

・KPIと現状が乖離しているものについては、要因分析として課題・問題点を示してはどうか。

・KPI達成に向けたより具体的な取り組み（基本方針、取り組み方法）の記載があればわかりやすい。

<委員長>

・今回は年次見直しにあたり、既存のKPIを追加したところ。

・ご指摘の点については、計画の根本に関わる重要な視点であるため、2次計画に反映できたら。

\*地域DXについて

<委員長>

・行政のデジタル化に続いて今後は地域のデジタル化も進んでくるので、2次計画に盛り込むことができれば。

## (2) その他

\*HP作成に係る支援制度について

<委員>

・コロナが長期化するなかで、リモート商談会等でHPを用いて説明すると非常に効果的である。何かHP作成にあたり支援制度はないか。

<オブザーバー>

・活用できるとしたら県の多角化補助金※1、国の事業復活支援金※2。

※1コロナの影響を受けた企業が事業継続のために行う多角化・新展開につながる取り組みに対する支援

※2コロナの影響を受けた企業の事業継続及び立て直しのための取り組みに対する支援

<事務局>

・町では現在該当する制度はないが、R2年度においてコロナ打破のための

支援策を打ち出した。

- ・今後国県制度を見ながら、町として必要なものがあれば検討したい。

\*企業訪問について

<委員>

- ・企業訪問、企業向けアンケートだけでは、従業員が抱えている課題が見えてこない。
- ・従業員の声を聞く機会があれば労働環境改善につながるのでは。

<委員長>

- ・人材確保、労働環境改善につながる大切な視点なので別の機会でこの内容を検討できたら。

<事務局>

- ・企業訪問については、町、商工会それぞれで実施しており、コロナ禍で実施できていないが商工会の企業訪問に同行したこともある。随時、企業の課題を聞き取り、状況を把握している。

\*企業立地促進奨励金（町）について

<オブザーバー>

- ・町内企業増設社数のKPIは企業立地促進奨励金申込件数のみであるため、実際増設した企業はもっと多い。
- ・事後でも申請できるよう制度緩和を検討いただけたら。

<事務局>

- ・事前に申し込みいただき、相談を受けた上での支援となるため、今後企業の声を聞きながら制度内容を検討したい。

4. 閉会

今回の意見を反映したものについて、委員に対し書面で確認を依頼し、令和4年3月中に改訂版策定予定。